第25回 栗山川浄化啓発作品入賞者決定

【ポスターの部】
最優秀賞
實川　貴紀（横芝小5年）
優秀賞
越後谷　彪（横芝中1年）
小松佳菜葉（横芝小5年）
神保佑美子（大総小6年）
【標語の部】
最優秀賞
佐久間　亮（横芝中3年）
優秀賞
宮薗　速也（横芝中2年）
【作文の部】
最優秀賞
押尾　眸（横芝中3年）
鈴木　貴之（横芝小4年）

ポスター　最優秀賞
實川　貴紀（横芝小5年）

標語　最優秀賞
佐久間　亮（横芝中3年）

ゴミ捨てる
あなたの闇が
汚染の源

作文　最優秀賞
押尾　眸（ひとみ）（横芝中3年）

私たちの栗山川

私たちの住む横芝町にある栗山川は、利根川に水を運ぶ導水路として人々の暮らしに重要な役割を担っている九十九里平野で最も大きな川です。

そんな栗山川と私たちとの関わりは深く、毎年町内の小学6年生が、学校で卵から飼育した鮭の稚魚を栗山川に放流することが、年間行事のように行われています。私も一度、放流をしたことがありますが、その時の少し寂しいけれどわくわくするような気持ちは今でも鮮明に覚えています。このせいか、栗山川は今では「サケ回帰の南限」と言われているそうです。

しかし、最近では、栗山川の水質汚染が心配されています。古くは、九十九里平野の農海産物の水上運搬路として使われていたこともあった栗山川が、現在では水は緑色っぽくにごり、川の隅の方には、ゴミや魚などの生物の死がいが浮いているのを見かけるようにまでなってしまっています。

私たちの両親の世代にあたる方たちが、「俺達が子供の頃には、よく栗山川で泳いだもんだよ。」と、言っているのを耳にしたことがありますが、昔の栗山川を見たことがない私にとっては、かなりの驚きでした。河川の汚れの原因のうち、およそ67％は、私たちの日常生活から出る生活排水だそうです。普段当たり前のように行っている、入浴や洗濯、調理、皿洗いなどによって、川を汚していると思うと、なんだか申し訳ない気持ち半分と、どうすればいいのかわからない気持ち半分でした。

そこで、どのような対策をすればいいかを調べてみると、よく言われている「お米の研ぎ汁の再利用」だけでも、水質汚染に影響を与えるといわれるお米の研ぎ汁を流さずに済むので、汚染防止に効果がある、と知ることが出来ました。こんなにも身近に、自分にも出来ることがあるとわかったので、やっと一安心でした。

およそ1万年前は海だった栗山川。その後海底の隆起によって陸となり、低地に誕生した栗山川の源流が流域を湿原に変え、この地域に農耕文化が発達しました。こんな、栗山川の歴史を、きれいなまま未来に繋げていくことが出来たら、と強く思っています。それには、私たちの生活のほんの一部から、変えていくことが必要なのではないでしょうか。

鈴木　貴之（横芝小4年）

きれいな栗山川に

ぼくは、栗山川をきれいな川にしたい。そしたら、友だちといっしょにつりをしたり、水遊びをしたり、泳いだりできる。考えるとわくわく、ドキドキする。なんてすてきな事だろう。

しかし、今は、ざんねんな事に、栗山川で遊ぶことはできない。ぼくたち人間が栗山川をこわしてしまったのだ。どうしてなったのだろう。

それは人間が川にきたない水を流しているからだ。せんたくをする時、せんざいのりょうをへらしたり、よごれた水をきれいにじょうかしてから川にもどしたらこんなにきたない川にはならなかったと思う。ぼくが、自転車で家の人と川の近くにサイクリングに行った時、とってもおどろいたことがあった。川の中や川のへりにたくさんのごみが捨てられていた。ジュースのカンやビン。おかしのふくろ。スーパーのビニールにはいったごみ。でも川のそこはもっといろんなものがしずんでいるだろう。おそろしい。

一人の人が、「ぼくだけはいいや。」「だれも見てないよ。」「ちょっとだけなら。」などと、自分だけがよければ、自分の